



# 平成30年7月 西日本豪雨発生

平成30年7月25日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

## 感染症発生動向速報

平成30年第29週分・7月16日～7月22日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●西日本豪雨に伴う感染症について

平成30年7月上旬、西日本を中心とした全国的な豪雨による水害や土砂災害のため、多くの避難所が設置されています。避難所で長期間生活することにより、様々な感染症が発生しやすくなります。過去には、黄色ブドウ球菌による食中毒事例や、ノロウイルスによる集団感染事例が報告されています。以下の点に注意し、衛生状態を保つことが重要です。

食事前、調理前、トイレの後には、石けんと流水による手洗いやアルコール消毒剤による手指消毒をしましょう。提供された食事は、早めに食べましょう。トイレを介して感染症が拡大する可能性もあります。トイレは、土足厳禁を徹底し、定期的に清掃、消毒を行いましょう。咳やくしゃみが出る際には、周りの人に病気をうつさないようにするため、マスクを着用しましょう(咳エチケット)。熱、咳、下痢、嘔吐などの症状があるときには、早めに医師や看護師、代表の方に相談して下さい。

復旧復興作業のため、被災地・避難所へ向かわれる方は、感染症予防(持ち込みおよび自身の罹患の予防)の観点から、以下の点についてご留意ください。

がれきの撤去作業などの際には、粉じんの吸入や土壌との接触から、レジオネラ症や破傷風、結膜炎などに罹患する可能性があるため、丈夫な靴や手袋、マスクを着用しましょう。破傷風は、ワクチンで予防できる感染症ですので、出発前の接種を推奨します。感染・伝播しやすい麻疹も、ワクチンで予防できる感染症です。2回の予防接種が終了していない方は、ご検討ください。野外活動を行う際には、つつが虫病や日本脳炎など、ダニや蚊などが媒介する感染症にも注意が必要です。肌を露出しない服装で作業し、虫よけスプレーを使用しましょう。

### 《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 6件 (①10歳未満、男性 ②10歳未満、女性 ③20歳代、女性  
④50歳代、女性 ⑤50歳代、女性 ⑥70歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①20歳代、男性、O26、VT1  
②60歳代、女性、O157、VT型不明)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①50歳代 ②60歳代 ①②ともに男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (80歳代、女性)  
侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (50歳代、女性)  
水痘(入院例) 1件 (第28週診断分: 10歳代、男性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	3.93	5.55	↓
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10	1.48	↓
3位	ヘルパンギーナ	0.72	0.41	↑
4位	咽頭結膜熱	0.66	0.48	↑
5位	手足口病	0.28	0.17	↑
6位	突発性発しん	0.21	0.66	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第29週 平成30年7月16日～平成30年7月22日）

分類	疾患	今週報告分（第29週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	3	1	1		1	6	9	10	31	10	49	109
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					2	2	2	1	2	1	10	16
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症					2	2	1	1	4	2	19	27
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1			3		6	9
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4		5	2	3	14
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	2	2	6	4	13	27
	水痘（入院例）							1		1		2	4
	梅毒									1		6	7
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											1	1
	風しん										1		1
定点疾病  (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ				1	4	5	2,232	1,824	3,485	2,442	5,346	15,329
					0.14	0.25	0.10						
	RSウイルス感染症			1		4	5	36	20	56	24	242	378
				0.13		0.40	0.17						
	咽頭結膜熱	6	4	4	1	4	19	165	58	229	25	260	737
		1.50	1.33	0.50	0.25	0.40	0.66						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	2	9	4	10	32	121	87	457	204	583	1,452
		1.75	0.67	1.13	1.00	1.00	1.10						
	感染性胃腸炎	26	20	25	3	40	114	784	582	888	178	2,125	4,557
		6.50	6.67	3.13	0.75	4.00	3.93						
	水痘			1	1		2	13	5	88	49	83	238
				0.13	0.25		0.07						
	手足口病	1		4		3	8	2	10	29	13	105	159
		0.25		0.50		0.30	0.28						
	伝染性紅斑				1	2	3	3	1	82	41	29	156
					0.25	0.20	0.10						
	突発性発しん		1	3	1	1	6	41	33	128	35	92	329
			0.33	0.38	0.25	0.10	0.21						
	ヘルパンギーナ	3	4	3		11	21	6	17	11	1	21	56
		0.75	1.33	0.38		1.10	0.72						
流行性耳下腺炎					3	3	3	5	14	3	26	51	
					0.30	0.10							
急性出血性結膜炎				1		1					14	14	
				1.00		0.14							
流行性角結膜炎							2	11	4	2	4	23	
細菌性髄膜炎											5	5	
マイコプラズマ肺炎				1		1	2	2	5	5	7	21	
				1.00		0.20							
クラミジア肺炎										1	2	3	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16	
インフルエンザによる入院患者（*）							51	55	39	150	96	391	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。